

開催日時	令和8年7月31日(金) 19時00分～20時30分
開催場所	web
出席者	理事、監事、参与、各部長・委員長(もしくは代理)
欠席者	
記録者	松本
議題1	会長挨拶および報告
	拡大理事会の役割の変化: かつては秋から冬にかけての予算編成前に方向性を伝える場であったが、現在は冬の拡大理事会や6月の総会で既に方針を説明しているため、夏の会議は進捗報告や重要トピックの共有に重点を置いている。 本年度の重点目標: 2040年を見据えた職能活動が重要であり、将来の医療・介護制度の変化に対応して会員の社会的価値を高め、生活を守ることを目指す。 行政への要望: 急性期病院でのリハ職の雇用推進、多職種連携、地域包括支援センターへのリハ職配置などを県や神戸市に訴えている。 士会の現状: 在会会員数は減少に転じており、特に休会率が23.8%(約4人に1人)と過去最高になっている点が課題である。財務面では会費収入への依存度が下がり(約7割)、事業収入や補助金の割合が増えている。
報告事項1	兵庫県理学療法士会 設立60周年記念事業
	開催日: 2028年(令和10年)2月19日(土) 会場: 神戸国際展示場(式典・講演会)、神戸ポートピアホテル(祝賀会) 趣旨: 60年の歴史への感謝と次世代への継承、魅力の発信。参加者は360名程度を見込む。 次世代を担う人材の実行委員への立候補・推薦を募っている。
報告事項2	第67回近畿理学療法学会
	開催日: 2028年2月20日(日)※60周年記念事業の翌日 テーマ: 「2040年AI時代の社会インフラ: 理学療法は医療・介護を支えられるか」 会場: 神戸国際会議場。2,500名の参加を見込む 方針: 対面開催を基本とし、一部オンデマンドも活用。「オール兵庫」として全支部から運営委員を募り、各領域・養成校が連携して準備を進める
報告事項3	登録理学療法士の更新推進に向けた取り組み
	現状: 2026年度は更新の初年度にあたり、兵庫県では約1200名が更新期限を迎える。 履修状況: 更新に必要な50ポイント以上を取得している会員は約4割にとどまっており、周知の強化が必要である。 対策: LINE WORKSでの進捗共有、研修会での啓発スライド活用、アーカイブサイトによる学習コンテンツ提供、低ポイント層への個別案内などを実施する。
報告事項4	第37回兵庫県理学療法学会
	開催日: 2026年10月3日(土)。会場は小野市の「うるおい交流館エクラ」。 進捗: 約120演題が集まっており、事前参加登録を呼びかけている。リハ栄養や地域包括医療病棟に関するシンポジウムも予定されている。
報告事項5	士会ミッション・ビジョン(MVV)について
	キーワード: 「つなぐ・高める・支える」 ビジョン(案): 「理学療法で 人と地域の未来を拓く」 今後の予定: 今年度中に、世代・性別を問わない幅広い意見を聞くためのワークショップを開催し、60周年記念式典でのお披露目も検討する。
報告事項6	代議員理事連絡会の開催
	目的: 代議員制度の形骸化を防ぎ、会員の意見を事業に反映させるための機能強化。 実績: 昨年度までの意見から、アーカイブの充実や新入会説明会の4月開催などが実現した。 本年度: 9月から11月にかけて11支部を巡回予定。地域医療構想への対応状況やMVV作成に向けた情報交換を行う。

報告事項7	第29回兵庫県総合リハビリテーション・ケア研究大会 本年度：2026年9月26日開催。テーマは「地域共生社会で広がる社会参加」。 次年度（第30回）：小山副会長が大会長を務める予定。テーマ（仮）は「地域医療構想とリハビリテーション」。
報告事項8	デジタル業務支援部：業務効率化への取り組み Google Workspaceの導入：非営利団体向け割引を活用した導入を検討中。 議事録作成の自動化：Google Meetの文字起こし機能やAI(Gemini)によるメモ生成を活用し、役員の業務負担軽減を図る。
報告事項9	熊本地震における災害支援 現地の状況：直近で発生した地震に対し、熊本J-RATが対策本部を設置し、経験豊富なメンバーが対応にあたっている。 兵庫士会の対応：現時点では九州ブロック内での支援で対応する方針であり、直接の派遣依頼はないが、今後四国・近畿へと協力依頼が広がる可能性がある。必要に応じて募金や間接的な支援の準備を進める。
次回の予定	未定
日時・場所	web
今後の予定	